

本県工業教育の更なる充実と発展のために

山形県教育庁高校教育課 指導主事 高橋良治

ものづくりを通して学ぶ工業教育の中には、人づくりや心づくりをとまなう真の「生きる力」を育む場面が多々あります。本年度も各校の「生きる力」を育む教育実践が花開き、数々の成果を上げています。

ものづくりコンテストやメカトロアイデアコンテストなどの各種大会への取り組みでは、品質を追求するものづくりに挑戦し競い合い、その中で生徒達は貴重な体験をすることができました。学校を挙げてのものづくりでは、環境や自然エネルギーに配慮した取り組みや地域社会に貢献する取り組みが目立ちました。このような取り組みは、文部科学省が掲げる工業教育の重要な配慮事項であり、先進的な教育実践でもあります。各校の御尽力に感謝申し上げます。

さて本県では、「緑と心が豊かに奏であい 一人ひとりが輝く山形」を基本目標とした「第3次山形県総合発展計画」を踏まえ「山形県産業振興プラン」を策定し、本県産業の振興を図るための展開方向を明示しています。本プランでは、「本県産業の目指す姿」として、「競争力の高い産業」、「外部環境の変化に柔軟に対応できる産業」、「地域資源と県民の知恵・技術が活きる産業」の3つの将来像を描いています。

また、山形県では、エネルギー政策を巡る情勢の大きな変化を踏まえ、国の動きを先取りする形で、再生可能エネルギーを中心としたエネルギー供給基盤を確保と、産業の振興・地域の活性化に向けたエネルギー政策の基本方向となる構想の策定を進めているところです。

現在、本県では、これら踏まえながら山形県産業教育審議会答申に基づき産業教育が展開されているところですが、工業教育ひいては産業教育が大きく変わろうとしています。平成24年度からは、酒田工業高校、酒田商業高校、酒田北高校、そして酒田中央高校の4校が統合し酒田光陵高校が開校されます。また、平成25年度からは、寒河江工業高校と長井工業高校がそれぞれ1学級減となり普通高校とのキャンパス制が導入されます。更に、平成26年度からは、村山農業高校と東根工業高校を統合し、農業科、工業科、商業科を併置する村山産業高校(仮称)が開校される予定であり、準備が進められています。

時代に合った地域産業の担い手を育成することが、工業科を設置する高等学校の使命であり、これまでも時代の変化に対応した学校再編や学科改編が行われ、産業界の発展を担う人材の育成に大きな役割を果たしてきました。その当時、地域の要望から設立された学校であるものの、設立当時の状況とは激変しています。

今後は、「地域産業を担う人材育成の在り方」を踏まえながら、各地域における学校の使命を再確認し、将来へのビジョンをもって活力ある学校づくりを進めていくことが、強く求められています。地域の企業がどのような工業高校と生徒を求めているのか、地域の企業や地域の方々の声を積極的に取り入れ、真に連携を深めたいと思います。また、再生可能エネルギーをものづくりのテーマにするなど、本県のビジョンや視点に合致した取り組みや教育課程はどうあるべきか、教育内容や指導方法をどのように構築していくのか、などについて明らかにするとともに、系統立てて計画的に実施していくことが強く求められています。そして、全教員が気概をもって人材育成にあたり、地域から求められる素晴らしい生徒を育て、山形の産業、ひいては日本や世界の産業を支える人材を一人でも多く育ててほしいと思います。夢を描くことも大事ですが、例え夢が破れたとしても生徒達は強く生きて行かなければなりません。夢とともに大事なものは「志」を持つことです。志を持った生徒を育てるために、教員にも強い志が必要だと思えます。教育委員会としても人材育成に重点を置き、地域産業の担い手となる生徒の育成やそれに大きくかかわる先生方の研修に力を入れていきたいと考えています。

今後とも、活力ある本県工業教育の更なる充実と発展のために、皆様の一層の御理解と御協力をお願いいたします。